



希望を抱き、 未来に向かって



総主事
すえおか よしひろ
末岡 祥弘

あけましておめでとうございます。

2014年を迎え、大阪YMCAは創立以来132年目の歩みを進めようとしています。

時代が大きく動く1882年、神様への祈りの中で大阪の地にYMCAが設立されて以来、地域奉仕、国際協力活動をはじめ体育・野外活動、社会教育・学校教育などの幅広い活動を通して青少年の全人的な成長に力を注いできました。創立から130年を越え、社会は今大きな変わり目を迎えています。グローバル化の大きな流れの中で社会の情報化、少子高齢化は急速に進み、科学技術や社会の多岐な課題に対して地球大の観点で物事を考え、行動できる人が求められる時代になっています。

新しい時代に希望を抱く、新しい人達―「青年」―が大阪キリスト教青年会を形成して以来、YMCAは変わらずに関わり、育む業を続けています。2012年の「創立130周年記念行事」、「世界の10のYMCAが協働して若者を育む」大阪宣言[※]、「東アジアYMCAアーバンネットワーク 第1回協議会」、2013年の「大阪YMCA大会」などの新たな動きは、大阪YMCAの「幻」「VISION2020」へ向う大きな一歩になりました。

「未来に希望を持ち社会を変革するチェンジメーカーとなる青年を育むこと」

「ネットワーク型福祉社会形成への働きを強めること」

の2つの目標が大阪YMCAの大きな柱になります。

グローバルな視点で社会を見て、福祉社会形成への課題があればそれをダイナミックに変革して行く力を持った若者を育てていく。その働きこそが大阪YMCAのこれからの姿です。

大阪YMCAの使命

- 大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。
- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代のひとびとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

創立以来大阪YMCAに関わられたすべての皆様の働きと、この地で存続する事を許された神様の恵みを心より感謝いたします。130年を超える歴史を踏まえ、大阪YMCAの使命を再確認し、向かうべき目標を定め、想いを共有し150年、200年に向かって進みたいと思います。

2014年、変化を恐れずに大きく動こうとしている大阪YMCAのエネルギーを皆で作出し、これからの歩みがますます力強いものになっていくことを祈ります。

※大阪宣言(2012年10月27日)

「大阪YMCA130周年に参集した我々は、次世代のグローバルリーダーシップを育て、人類の平和と共存を願う世界・アジアのYMCA運動の理想、目的を達成する為に、各YMCA間での、集う人々との相互理解、人的交流、プログラムの交流、その他YMCA運動に益となる情報交換等を今後より積極的に行っていくことがますます重要であることを確認する。」

(調印したYMCA:台北、香港中華、マンダレー、台南、ドイツYMCA同盟、ソウル、シンガポールメトロポリタン、南投、台中、大阪)

INDEX

・新年のご挨拶	1P
・2013年度大阪YMCA大会報告	2P・3P
・2013年度大阪YMCA大会報告	・早天祈祷会
・食育コラム	・支援金ご報告
・会員	・賛助会員
	4P

発行：末岡祥弘 編集：大阪YMCA広報室
〒550-0001 大阪市西区上瓦町1-5-6
TEL 06-6441-0894 FAX 06-6441-0297
大阪YMCAのホームページでその他の情報をご覧いただけます。
URL: <http://www.osakaymca.or.jp/>

No.666

2014
1-2月号



第1回 大阪YMCA大会

— 創立131周年 —

11月30日(土)、大阪YMCAがボランティアを中心とした運動を推進する団体であるという姿を具体的に示し、交流と研鑽を目的として、第1回大阪YMCA大会が実施されました。

当日は現会員のみならず、ユースリーダーOB/OGやボランティア、教職員など300名を超える参加者があり、大変活気に溢れる大会となりました。

当日の様子をご報告させていただきます。



第一部 オープニング・授与

開場と同時に今大会のテーマである「つながりあい、学びあう(Reunion & Learn more)」「今、ここから、変える!(Let's make a difference!)」というコンセプトムービーが流れ、新たな一歩を予感させました。谷川俊一大会実行委員長による開会祈祷の後、会員表彰(奉仕の書3名、永年継続表彰計40名)が行われ、51年以上永年継続会員のご出席の方々のご紹介が行われました。

続いて大阪YMCA国際奨学金の奨学金授与式が行われ、目録授与の後、奨学生代表 許 太平さん(大阪YMCA国際専門学校語学・ビジネス専門課程・中国出身)が謝辞を述べられました。



国際奨学金奨学生



「奉仕の書」受賞者

50年継続会員表彰

「奉仕の書」受賞者

- ・小西 和子さん
- ・澄川 菊代さん
- ・保田 圭子さん

10年継続会員

- ・石津 雅人さん
- ・岡本 久美子さん
- ・小西 雄希さん
- ・松倉 幸作さん
- ・石原 航平さん
- ・加計 純子さん
- ・佐藤 恵理子さん
- ・水野 善夫さん
- ・猪口 武志さん
- ・粕谷 隆さん
- ・新保 正秋さん
- ・三好 美有希さん
- ・岩間 みどりさん
- ・川井 良一さん
- ・立山 英展さん
- ・矢野 成悟さん
- ・卯津羅 陽子さん
- ・小池 晃さん
- ・野田 寿加子さん
- ・湯浅 禎也さん
- ・梅谷 明子さん
- ・児玉 祐一さん
- ・藤井 弥生さん
- ・小西 邦子さん
- ・小西 和子さん
- ・船戸 輝久さん

25年継続会員

- ・貝 容子さん
- ・谷 正一さん
- ・太野垣 喜代子さん
- ・鉄谷 明さん
- ・橋本 恵典さん
- ・松下 徹さん
- ・松原 満さん
- ・森浦 隆之さん
- ・山佐 亜津子さん
- ・吉村 周平さん
- ・鷲谷 糸津子さん

50年継続会員

- ・津野 忠昭さん
- ・富田 泰子さん
- ・中川 善博さん

51年以上継続会員

- ・井上 都志弘さん
- ・今村 一之さん
- ・岩坂 正雄さん
- ・宇野 義男さん
- ・瓜生 菊雄さん
- ・後藤 清さん
- ・酒井 哲雄さん
- ・坂口 治男さん
- ・坂本 松男さん
- ・鈴木 璋三さん
- ・滝口 敏行さん
- ・田中 稷二さん
- ・田中 義宣さん
- ・寺川 克さん
- ・中芝 永次さん
- ・中村 勝吾さん
- ・西山 瑞彦さん
- ・野村 忠彦さん
- ・灰谷 隅夫さん
- ・橋本 憲之さん
- ・増成 恒哉さん
- ・文字 文男さん
- ・米澤 保男さん
- ・若木 正実さん

(五十音順)

第一部 山田公平さん講演

「これからのYMCAに期待されること」

大阪YMCA大会の第一部では、アジア太平洋YMCA同盟(APAY)の山田公平総主事による基調講演が行われました。

「これからのYMCAに期待されること」と題して、「望まれるYMCAの形」として、今のYMCAの事業やプログラムを大切にしながら、よりYMCAの特長を活かしたプログラムや活動の開発が必要であること、また伝道活動が盛んになっているキリスト教会と宗教性を問わない世俗化した多くのNGOやNPOとの間にある真ん中の道をYMCAは進むべきであることなどの提言をされ、さらにそれに当てはまるようなアジア太平洋地域のいくつかのYMCAが進めている新しい動きをご紹介いただきました。

最後には「これからの大阪YMCAに期待」するものとして、

- ・社会の変化やニーズを調べ、何をするかを考えると
 - ・さらなる共同を生み出すパートナーを作り出すこと
 - ・若者を前面に、積極的かつ計画的な養成を行うこと
 - ・10%の変化が大きな違いを生み出すという思いを持つこと
 - ・YMCAの新しい動き、活動を生み出していくこと
 - ・YMCAの働き、効果を証明していくこと
 - ・YMCAが有する国際関係性を発展させ、利用していくこと
- というメッセージを発信され、多くの来場者からの共感を得ました。



第二部 東日本大震災復興支援報告

震災支援活動として、2Fロビーでは、震災復興支援Tシャツ販売と、盛岡YMCA宮古ボランティアセンターの活動報告写真パネルの展示を行い、第二部冒頭では、大阪YMCA職員で盛岡YMCA宮古ボランティアセンター長として奉仕している木田泰之さんから2013年度の震災復興支援活動報告が次の通りになされました。

「今年度は被災した子どもたちへのプログラムと地域社会で望まれている支援の実施に重点をおいて活動しました。子どものプログラムでは海での活動にまだ恐怖心を持っている子どもが多く実施をためらっていましたが、保護者からも、いつか克服しなければならないことなので是非、実施してほしいという声が多く、今年度から実施しました。また地域社会で望まれていることとして、空き地にボランティアの方々と花を植えるプロジェクトをはじめたところ、大変喜ばれ、プログラムが広がり、いまでは他の団体やグループも実施するようになりました。今後も地域社会で必要とされていること、自分たちにできること、支援を継続するために新しい参加者へ継承することなどを見つめながら活動を継続していきます。」



薮ヶ崎花プロジェクト

第二部 グローバルユースフォーラム



【パネリスト】

- 森川 弘基 (大阪大学)
- 山下 渉 (大阪大学大学院)
- 西川 航平・上村 紗央里 (阿南国際海洋センター・ユースボランティアリーダー)
- 濱野 泉・氷室 深咲・鍛冶 亮太 (大阪YMCA国際専門学校高等課程国際学科)

【ファシリテーター】

- 立山 英展 (大阪YMCAインターナショナルスクール)

グローバルユースフォーラムでは今夏、香港グローバルシズンキャンプ、ICCPO(国際キャンプカウンセラープログラム)、香港インターナショナル・ユースカンファレンスに参加した7名のユースがそれぞれの活動を通しての学びと気づきを報告しました。後半は報告をふまえて、「YMCAのグローバルユースとは？」というテーマについてディスカッションを行いました。



世代やYMCAとの関わりも三者三様のユースでしたが、いずれの活動も社会課題の解決を目的として実施されていること、また、YMCAの持つグローバルネットワークを活用しながらアジアを中心とした世界のユースと共に課題解決が目指されていることが再確認されました。



当日、会場は次世代を担う溢れんばかりのユースで埋め尽くされましたが、彼らの中から地球規模で物事を考え、足元から行動を起こすことのできる、真の意味での「地球市民」が一人でも多く育っていくことを切に願います。

第二部 リユニオン! 歓談スペース

新しいつながりと再構築を目指して設けられた「リユニオンスペース」には、ユースボランティアリーダーOB/OGをはじめ、ワイズ関係の皆さんが多く訪れ、それぞれに「YMCAに関わったきっかけ」や、「今、何を求めてYMCAの活動をしているのか?」など、お茶を飲みながらゆったりと語り合う光景が印象的でした。また、訪れたリーダーの中には、リーダーOB/OGのお子様が多く、同時にワイズの皆様にもリーダーOB/OGが多くいらっしゃることがうれしく感じられました。

このリユニオンがきっかけとなり、新たにつながりあう喜びが増えていくことが期待されます。



*参加延べ人数約60名

第二部 井上史子さん講演

「強みを生かした北米のファンドレイジング」

大阪YMCAにおいてユースリーダー、活動委員などを歴任され、現在はサンフランシスコでソーシャルワーカーをされている井上史子さんに、北米でのファンドレイジングの現状とともに、大阪YMCAの強みを生かしたファンドレイジングの提案をして頂きました。

北米のファンドレイジングは、楽しい参加型

北米は寄付が日本よりも集まりやすいような印象がありますが、実際は長く続く不況や、多くの方が生活保護受給者であること等、必ずしも条件が良いわけではありません。アメリカのNPOや学校は、ファンドレイジングイベントの回数を多くすることとボランティアを多用することで不利な点を補っています。楽しむことが好きな米国人の気質はファンドレイジングにも表れており、懸賞の抽選券販売、食べ物や文具等の販売(買う楽しみ)、イベントで食べ物の屋台を出店(食べる楽しみ)、ディナー、ゴルフ、ライブイベント(趣味の楽しみ)など、献金を直接お願いするギブアンドテイク型より、寄付する側も何かを得るウィン・ウィン型のファンドレイジングが好まれています。

大阪YMCAの強みとは?

日本を離れて強く感じること、大阪YMCAはスタッフ、ボランティア、ワイズと本当に面白い方が多いことです。大阪Yの強みは「笑い」と「社会貢献」が重なるところにあると感じています。参加者、スタッフ、ボランティアが「あ一面白かった!」と感じるファンドレイジングイベントを考える「お金のリートレ(リーダートレーニング)」をすると面白いと思います。実行委員はワイズ、リーダー比5対5で構成し、お金を集めるためのミーティングをすれば、リーダーにとっては「最良のビジネストレーニング」、大阪YMCAはプログラムとして「ワイズの知恵と経験を寄付」してもらった提供が出来、ワイズはリーダーと仲間になり、「片思いの解消」になります。大阪YMCAは素晴らしいアイデアを持つ沢山の方々に恵まれた団体ですので、外部の例を参考にしながらも、一番面白いアイデアは必ずYMCAの中から出てくると信じています。

大好きな大阪YMCAに、北米の状況を報告する機会を与えて頂き、本当にありがとうございました。



第1回大阪YMCA大会報告

ブース・パネル展示 (2Fホール)

2Fホールでは、語学国際、シニア、高校生、ウェルネスの各事業紹介、更に、YMCA事業に積極的に支援・協力いただいているワイズメンズクラブ活動紹介、チャリティーラン、障がい児支援プログラムなど、各担当者による事業・プログラム紹介をブースに分かれて行いました。また、ユースボランティアリーダー、国際聴覚障がい青少年キャンプ、チャレンジ130進捗状況などの活動紹介をポスター展示にて行いました。各ブース・ポスターとも工夫を凝らし、活動写真や映像、パンフレットによる活動紹介、ここ数年の新しい大阪YMCAの取り組み、未来の元気なYMCAを想像しながら今後展開していきたいチャレンジなど、積極的なアピールが行われ、参加者の方が立ち止まり耳を傾けている姿が多く見られました。写真や活動紹介など、願いや想いなどが伝わる展示になりました。



2Fロビー

会場受付は、参加者相互の絆を少しでも深められるように、実行委員のボランティアの方々に数多く参画いただき、和やかかつスムーズに皆様をお迎えできました。2Fロビーでは大阪YMCA130周年のあゆみの写真パネル設置や、130周年記念誌、チャリティーランTシャツ、震災復興Tシャツなどの販売を行いました。

また、交流のきっかけをつくる試みとして、iPadで参加者の方々の撮影し、3Fのリユニオンスペースのモニターでスライド上映するという企画も行い、好評を得ました。

さらに、第一部の様様を限定公開ながらUstreamによる配信を行いました。これは、南YMCAのライブラリコンサートの上映・配信機器とノウハウを学ばせていただき実現したものです。また、賛助会員のリコージャパン株式会社様のご厚意によってお借りした会議システム用カメラおよび電子ボードを使用し、第二部で10Fのシンポジウムや講演の様様を3Fで上映し、別会場の様子もお伝えすることができました。当日は、リコー様もボランティアとしてご参画をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

大阪YMCA早天祈禱会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

- 第249回 日 時…2014年1月20日(金)7:30~8:30
証 し…大川 四郎さん
(NPO法人おおぞら 理事・事務局)
- 第250回 日 時…2014年2月21日(金)7:30~8:30
証 し…長谷川 雄大さん
(高槻YMCA スタッフ)

場 所…大阪YMCA会館 10階 チャペル
問合せ…大阪YMCA 本部事務局 総務
TEL: 06(6441)0894 E-mail: info@osakaymca.org

食育コラム



日本の食文化「行事食」を
传承しましょう

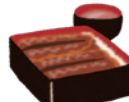
どうも たかこ
YMCAサンホームスタッフ 堂本 隆子

新年あけましておめでとうございます。昨年は和食がユネスコ無形文化遺産に登録されました。2020年の東京オリンピック開催も決まり、日本の食文化の伝承が益々求められています。しかし、近年、和食文化の特徴である「行事食」の意味を知らない子供たちが増えているそうです。本来、行事食は特別な日の食事であったのが、いつでも食べられるようになり、家庭で作られることが少なくなっているのも原因のひとつです。国際社会の一員として日本の食文化を体感して理解し、伝承できる人を育てるために、経験のある大人たちが労力を惜みず、誇りを持って伝えていく「食育」の大切さを感じています。

YMCAサンホームでは、毎月の行事食を大切にしています。頻繁には外出できない高齢者にとって、行事食は、季節を感じたり、懐かしい思い出話をしたり、時には本にも載っていない地域の伝統食の話が出たりと、周囲の人とのコミュニケーションツールにもなっています。日本にはお正月のおせち料理から大晦日の年越しそばまで、実に沢山の行事食があります。皆さんはどれだけ伝えられるでしょうか？

代表的な行事と食べ物

- 1月 【お正月】おせち料理 【人日】七草粥 【小正月】小豆粥
- 2月 【節分】大豆、鰯など 【初午】いなり寿司
- 3月 【桃の節句】ちらし寿司、蛤など 【春分の日】ぼた餅
- 4月 【お花見】団子
- 5月 【端午の節句】柏もち、ちまき
- 6月 【夏至】たこ
- 7月 【七夕】そうめん 【土用の丑の日】うなぎ
- 9月 【重陽の節句】菊酒 【十五夜】月見団子 【秋分の日】おはぎ
- 10月 【十三夜】月見団子
- 12月 【冬至】かぼちゃ、小豆 【大晦日】年越しそば



節分の豆で作る 大豆ごはん (4人分)

【材料】 米 2合 しょうゆ 小さじ2
塩 小さじ1/3 酒 大さじ2
豆まき用の煎り大豆 1/2カップ だし昆布(あれば) 10cm位

- 【作り方】 1. 米は炊く30分前に洗って通常の水加減で炊飯器に入れ、上にだし昆布をのせて浸水させておく。
- 2. 炊く直前にだし昆布を取り出し、酒、塩、しょうゆを入れて軽くまぜ、豆を散らして炊く。



支援金
ご報告

盛岡YMCA宮古ボランティアセンターでの震災支援金として、大阪ワイズメンズクラブ様よりご寄付いただきました。ご支援に感謝し、ご報告させていただきます。

■会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

- | | | | |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 【新規会員】
雨堤 崇志
井上 史子
橋本 直樹
森田 涼美 | 柳本 裕介
【継続会員】
上野 綾子
木津 克見
清家 球平 | 藤井 弥生
村里 愛美
湯浅 禎也
吉川 佐和子
吉川 尚志 | 【継続賛助会員】
大阪ガス株式会社
近土写真製版株式会社
レッキス工業株式会社
2013年11月度報告 |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|